

国際交流ひろば



鳥取市国際交流員
張日榮 (チャン・イルヨン)

韓国最大の休日 「ソルラル」(旧正月)

民族大移動

年が明けて一カ月余りもなりましたが、韓国の人々は一年の最も大きな行事、旧暦の元旦である「ソルラル」の準備に追われようとしています。

ソルラルの期間は、三日間休日となります。今年は二月十一日から十三日までです。この間、多くの人々が故郷に帰省し、家族とともに過ごします。この時期、「民族大移動」とも比ゆられるほど巨大な人の群れがそれぞれの故郷に向かいます。韓国全人口(約四千六百万人)の五〇%以上が、この期間に帰省するという統計からもわかるように、ソルラルは韓国の人にとっ

てはただ単に休日というだけでなく、家族と一緒に過ごす大事な期間です。すさまじい交通渋滞により何十時間も車の中で退屈に過ごさなければならぬのですが、それでも韓国の人々はウキウキした気持ちでソルラルを迎えます。

ソルラルの朝には、新年を迎え父母や祖父母の健康と無事を祈り、新年のあいさつをします。これを「セベ」と言います。韓服(民族衣装)を着て、家族と一緒に親戚たちを訪ねセベをすることからソルラルは始まります。それから、「チャリエ」という儀式が行われます。チャリエは自分の祖先たちに対し、食事のお膳を準備し、新しい一年を迎えた報告とめい福を祈る儀式です。ソルラルの朝には大部分の韓国家庭でチャリエを行い

ます。チャリエの儀式には親戚を含めた家族全員が参加し、その中で最も年齢が高い男性がとりしきるのが慣習になっていきます。それが終わると墓参りに行きます。

また、ソルラルには親戚に贈り物をします。ソルラルの前後は、贈り物商品売り出しの光景を多く見ることができます。特にデパートと有名商店街は多くの客でにぎわい、足の踏み場もないほどです。

ソルラルの遊び

それでは、ソルラルの伝統的な遊びと食べ物をご紹介します。

「ユンノリ」
木を削って作った四本の「ユ」を投げて「マル」(駒)を進める日本です。老若男女を問わず、誰でも楽しめるソルラルの代表的な遊びです。

「ノルティギ」(板跳び遊び)
女の子の遊びで、板をシーソーのようにして、二人で板を思いつきり踏んで高く飛び跳ねる遊びです。

「ヨンナルリギ」(凧揚げ)
空高く揚げる凧は健康と長寿、福を受けるという意味があります。韓国の凧もいろいろな

形がありますが、盾の形をした凧が一番ポピュラーです。

ソルラルの食べ物にはいろいろありますが、「トックツ」(韓国餅のスープ)が一番代表的です。薄く切った白もちを汁に入れて煮たもので、トックツを食べると、「一歳年をとる」と言われています。肉と卵、数種類の野菜に小判型のもちを入れ、醤油や塩で薄めに味付けをします。韓国では、お正月が近づくとデパートなどで切りもちが一齐に売り出されます。日本のお雑煮に似ていますが、見た目は全く違う料理です。

このように、韓国と日本のお正月にはお互い似ている部分もあれば、かなり違う部分もあります。次回は、鳥取で一年間住んでみた感想を書きたいと思えます。



韓国の伝統料理(トックツ)
月刊韓国文化2002年1月号より転載(写真提供:文化観光部)